

県立広島病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、医療の進歩向上と国民の健康増進を目的として、下記の研究を実施しております。不明な点がございましたら、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

① 試料・情報の利用 目的及び利用方法	研究課題名	腹腔内観察併用単孔式完全腹膜前腔鏡下鼠径ヘルニア修復術 (iSTEP)の手術手技とその成績の検討
	実施予定期間	倫理審査承認後（ 年 月 日） ～ 平成29年12月31日（ 年間）
	研究の概要	鼠径ヘルニアの手術手技の一つに腹膜前腔鏡下鼠径ヘルニア修復術というアプローチ法があるが、反対側の不顕性の鼠径ヘルニアを見逃してしまう可能性がある。単孔式の創を利用し腹腔内観察を併用することで、病型診断、パッチ修復後の確認を可能とし安全かつ確実にヘルニア修復を行うことが出来る。上記方法を当院で行った2009年4月から2016年5月までに75例を対象とし患者背景、臨床データ、術中所見、術後経過を後ろ向きに収集しまとめた。
	研究実施科	消化器乳腺移植外科
	対象患者	当院で腹膜前腔鏡下鼠径ヘルニアを受けた患者
	対象期間	2009年4月 日～2016年 5月 日（ 7年間）
② 利用、又は提供する 試料・情報	電子カルテからの情報。	
③ 利用する者の範囲	当院の研究者のみ	
④ 試料・情報の管理 責任を有する者	研究責任者：漆原 貴	
⑤ 試料・情報の提供 停止について	本研究の対象患者に該当する可能性のある患者さんで、自身の情報を研究目的に利用されることを希望されない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療などに不利益が生ずることはありません。	
⑥ ⑤の受付	④ について、ご希望の方は下記の相談窓口にご連絡ください。	
	相談窓口	県立広島病院 内視鏡外科 職名 主任部長 氏名 漆原 貴 TEL：082-254-1818 FAX：082-252-6240
研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保		

(参考資料5)

護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できますので、問い合わせ先にご連絡ください。